

What Matter

CLUB FAME PICKS UP THE NEWS OF KYOTO TOWN.

70'Sのウエストコーストをイメージして、フランクに楽しむサンド。

松ヶ崎の方まで車を走らせたなら、ドライヴ・スポットとしては是非立ち寄りたてのお店を一軒、爽やかなベバミントグリーン、屋根が白く、サンドイッチマゴーズである。こちらのメインはメニューの片隅に控えるよくあるサンドイッチとはもちろん一線を画した、特注オリジナルクロワッサンとフランスパン使用の、味もボリュームも大満足の一品。メニューからパンの種類と具を好みでチョイス。チーズと野菜をベースにこぼれんばかりに具を挟み込んだサンドを、思い切ってガブリと齧れば、パリッとした歯触りも抜群、思わず笑顔もこぼれるオイシサだ。太陽の下のピクニック気分をイメージした、高いルーフから分

分に光がさし込む明るい店内も、オーナーが昔波のりに行っていた頃よく聞いたという70'Sの音楽が心地良く流れる快適な空間に仕上がっている。サンドは400円〜と価格も良心的。



●マゴーズ
京都市左京区北山川端西入300
075・721・3443
11:30AM〜12:00AM 日〜11:00PM
第1・3月休

素材、仕立て、デザイン。本来の良さに回帰して、着こなすイタリア。



かつてパブリーな人々が判で押した様に纏ったイタリア服も、ここへ来て、離れるべき者は離れ、その本来の良さを理解する者ものになりつつある昨今。ベーシックでありながらもディテールに凝った官能的な曲線

構成と華麗なデザインの魅力で、そんなイタリア服の代表格とも言えるのがジャンニ・ヴェルサーチ。だがそのメンズのファーストラインをオフプライスで扱う注目のショップがシニアスだ。この春のおすめは、スマートなラインが秀逸な3ツボタンスーツ188,000円〜や幾何学的な人柄のニット128,000円〜。商品はどれもパリ、ロンドンからの直輸入品ばかり、お見逃しなく。

●シニアス
京都市中京区寺町二条下ル妙満
寺町453 興波ビルF
075・212・1080
12:00PM〜8:30PM 第3火休

北山を新たに賑わす、注目のグッズ・セレクトショップ・ショップ。

嗜好の細分化が進むにつれて、流行というもののニーズは極めて希薄になっていくようである。ビッグウエーブなハヤリモノならなおさらだ。これさえ持っていればという安心ブランドやアイテムなき今、各自の本当のセンスや実力を問われ、また生かしやすい時代といえるだろう。さて、気分をリフレッシュするには絶好のシーズンとなった。スタートをきるのにふさわしく、身につけるモノも今の自分や気分にあったグッドセンスなものを選びたいところだ。そんな時におすすめたのが、北山のニューエイジ。オーナーの確かな目でこだわりを持って選ばれた充実のアイテムがひしめくポイントとして、覚えておきたいショップである。ステーション

クローズさもまた楽し。エネルギーに夜通し盛り上がるバー。



スペインの居酒屋といった趣きの内装に、12人も入れれば一杯の小ハコ感覚が楽しいBAR・D.S.。女性のジュエリー・デザイナークロアージュの店だけあって、スタッフは個性的な女性揃い。かかる音楽もその日のスタッフの好みで変わる素人っぽさがあって連帯感を醸し出すと好評だ。バーボンは700円、ビールは600円、またボトルキープの際には女性のみ

500円ダウンのサービスがあるらしい限り。合わせて人気のヤムチャセット1,200円、エビチリタコス700円などのフードメニューも忘れずオーダーしたい。カウスターを挟んだスタッフとの距離の近さも手伝って思い切り盛り上がる一軒である。フエムカードを提示の方に初回のみフードサービス有り。

●BAR・D.S.
京都市左京区今出川通銀閣寺通西入北側VEMUDA・SHO P2F
075・723・9220
8:00PM〜ほぼ4:00AM 無休

ポップにエキサイティングに、アメリカン・テイストを楽しむ。

吉祥院にオープンした120口は、英会話学校を営むデヴィット・ポッツ氏プロデュースによるアメリカンカフェ・バー。

りのライ麦パンに具をたっぷり含んだ豪快な大きさが、いかにもアメリカらしい。またこの店でもう一つ評判を呼んでいる

テントを張りテイクアウトコーナーも新設の予定。一度お試しを。

●レトロ
京都市南区吉祥院観音堂南町1
075・6991・5926
10:00AM〜11:00PM 無休



●ニュー・エイジ
京都市北区小山元町14-6
075・491・9997
12:00AM〜9:00PM 水休

元お好み焼き屋だったという店內を、氏の友人の手により太陽や熱帯雨林、宇宙をイメージしたシヨンを豊かに描いた一面の壁面です。一新、全くホッパな空間に生まれ変わらせている。自慢のメニューは、開業のきっかけにもなった潜水艇型サンドイッチサフ400円。そのままでもおいしいと好評のポッツ氏こだわ

るのか、試験管をガラス代わり一気に燃らすシューター400円。常連の間では、店内に置かれたサッカーゲームに興じた後割ゲームとして飲むこともしばしばとか。おすすめはコーヒベースの日記あたり。今後は店前に



フルモデルチェンジで一歩進化した新生セピア、現る。

必要なモノと同じくらい、あつたら便利なものに弱いのが消費者というもの。今使っているモノでもさして不自由さはないが、もっと便利だといわれれば手に入れたくなってしまふ。よりよいモノを求め人の心はつきないものである。そんなワケで、ヘルメットを収納できるスクーターとして好評の「セピア」シリーズもユーザーの要望に応じてフルモデルチェンジ、全国発売となった。薬に乗り降

りできるコンパクトなボディを特長とする同シリーズだが、今回は、スクーターとしては初めて新しくファンターマーカーを設けたセピアZを初めとしてセピアRS、セピアの3種類のグレードを設定。特に今回、装備にこだわったアルト・ユーザー向けに新設されたセピアRSには、制動力の高いフロントディスクブレーキ、偏平チューブレスタイヤを装備して、高い走行性能を実現。さらにセピアZ



リニューアルで一層パワーアップした、音の宝庫。

河原町ビブレ6Fのタワーレコードといえは、ロックにジャズ、ジャパニーズ・ポップスなどの在庫10万枚を誇るCDから、ミュージック・ビデオ、インポートマガジンまでワイドな音の楽しみをぎゅっしり詰め込んだアメリカン・スタイルのミュージック・ストア。数ある京都のレコード・ショップの中でも頼れる一軒として、音楽フリークにとっては何の難せもない存在だが、この3月フロア面積がさらにプラスされリニューアル、ますます注目を集めている。今回一番大きな変化となるのが、新たにコーナー立てされたジャズ・アルバム。さらに一層の充実をはか

ったクラシック・ルームが併設されジャンルごとの一段とデザインなセレクトションが可能となった。さらにステイキングなど環境問題に敏感なアーティストの働きかけにより輸入盤CDのジャケットがスモールサイズ化されるのも手伝って収容力も格別にボリュームアップ。それに合わせてリスニング・システムも充実。1台で10枚までのリスニングが可能なマシンを導入しており、これで店内で聞ける曲数が100曲近くになった。また邦盤の充実も今回の変化の一つ。新譜がより種類豊富に揃えられたのももちろん、今後過去のヒット曲CDなども充実して

いくとのことで見逃さない。おすすめCDを紹介する、本誌「今日のこれを聞かないで」というコーナーでおなじみ店長の永岡正直さんからは、「アメリカでは、新譜と変わらなく古い旧譜も売れるのが普通。ポピュラー・ミュージックのホイットニー・ヒューストンの「ベイビー・ガード」を聞いたら、デュオンス・ワービッド、アナ・ベーカーも聞いてみるなど、旧譜に注目した聞き方もいんですね」とのアドバイスも。ともあれ好みに合わせて、こまめにチェックしたい。



●タワーレコード京都店
京都市中京区河原町通御薬師西
入ル河原町ビブレ6F
075・212・7058
11:00AM~8:00PM 不定火休

ロマンティックでノーブルな本場のパティスリーを堪能。

アゼ・ル・リドローは、フランス、ロアル地方、眠り姫の舞台ともいわれる町の名のパティスリー。店名のイメージに合わせ、クラシックなヨーロッパのキャフェをそのまま移したよう



な外観・内装は、下鴨のアンティーク店アルテカーサの太西秀良氏のプロデュースによるもの。甘い香りで一杯の店内は、大理石風にペインティングされた独特のオレンジ色を基調としており、本場の空気が十分に伝わる色味の出来栄だ。もちろん仏料理のデザートに専門に修業した職人肌のオーナー手作りのケーキはどれも絶品。フランス仕込みらしく甘さのメリハリを効かせた味が抜群だ。日に12種類程揃えられているが人気の品は売れ足も早いので要チェック。特に人気は、スライスしたリン

ゴ入りプリンをオープンで焼き上げたリンゴプリン350円や幾層も布地を重ねた技術が光るフランボワーズ400円など。この時期ならミント入りケーキもおすすり。

●アゼ・ル・リドロー
京都市北区小松原北町13-3
075・463・2662
10:00AM~7:00PM
火第1~3月休



最初の、そして最後の「軒」として、夜の街の食欲をサポートする店。

夜遊びに出かける前に、また深夜の街で空腹を覚えた時に、程よくお腹を満たせる一軒として訪れたいレストラン・バーがオープン。愛敬のあるBBOOという店名もさることながら、アレンジを効かせた洋食を楽しむテーブル席、カウンター6席のこじんまりとした店造りが親しみやすく、シチュエーションを問わず利用しやすいのが魅力だ。まずオーダーしたいのがワンディッシュユニナー2、500円。日によって多少変わるが一皿でサーモンソテー、エビフライ、貝柱のムニエル、ミニステーキ、ハンバーグなどが一度に楽しめる。他にも柔かくてオイシイ、リースかつ丼900円、意外にあっさりとしただけの、チーズ、ベーコン入りのプー茶漬け

620円と試したいメニューがいろいろ。これからの夜に気軽に利用したい。

●れすとらん・バーBBOO
京都市中京区東木屋町四条上ル
東側東木屋町ビル1F
075・241・0789
6:00PM~2:00AM
(日~12:00PM)
水休

